

## 第80回国民スポーツ大会（青森国スポ）選手選考基準要項

（一財）石川陸上競技協会 強化部

### 1 参加基準

#### (1) 選手団

監督2名、選手29名（男子選手19名以内、女子選手19名以内）計31名以内で編成し、種別、種目、参加数は下記のとおりとする。

監督、選手の兼務は1名とする。この場合は参加選手を30名とすることができる。

#### (2) 参加制限・資格

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会（下記◎、**県陸協指定国スポ予選競技会**）に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ 4×100mリレーの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別から選出するものとし、合計8名以内で申込むこと。なお、選手変更については、日本陸上競技連盟競技規則によるものとする。

エ 男女混合4×400mリレーの編成は男女2名ずつとし、合計8名以内で申込むこと。男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。なお、走順は男子-女子-男子-女子とする。

オ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。

カ 成年女子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子A5000m競歩、少年女子A5000m競歩の出場者は、10000m競歩又は3000m競歩、いずれかの予選会を経た者でもよい。

キ 成年男子3000m障害には、少年男子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年男子又は少年男子、いずれかの1名のみとする。

ク 成年女子走高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子、いずれかの1名のみとする。

ケ 成年女子棒高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子、いずれかの1名のみとする。

コ 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は、100m、200m、400mいずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子A300mハードル及び少年女子A300mハードルの出場者は、200m、300m、400m、110mハードル/100mハードル、400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

ス 少年女子A2000m障害の出場者は、2000m障害の予選会を経た者のみとする。

### 2 予選競技会（2026年度選考競技会）◎=都道府県主催（石川県）が指定した国スポ予選競技会

◎石川県陸上競技選手権大会

◎石川県中学校陸上競技対校選手権大会

◎全日本中学校通信陸上競技石川県大会

◎第80回国民スポーツ大会陸上競技石川県予選会

◎第1回石川県陸上競技記録会2026

○日本陸上競技選手権大会

○全国高等学校陸上競技対校選手権大会

○全国中学校陸上競技選手権大会

○北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

○北信越中学校陸上競技大会

#### ◇ 準予選競技会

- 日本陸連主催等大会
- 日本学生連合主催大会等
- 北陸実業団陸上競技選手権大会
- 各地区学生陸上競技対校選手権大会
- 石川県高等学校陸上競技対校選手権大会
- 全日本競歩（元旦・神戸・能美・輪島）

※ 国スポ候補となる選手の欠場に関しては棄権届を提出すること。

### 3 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

(1) 監督・選手は、日本陸上競技連盟登録者であること。

(2) 参加資格・所属都道府県

第80回国民スポーツ大会実施要項総則5-(1)(2)に定めるもののほか、次による。

ア 日本国籍を有しない者〔出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、永住者（日本国との平和条約に基づき、日本国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）を除く〕については、学校教育法第1条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各1名以内で参加することができる。

※ 日本国籍を有しない競技者については、原則、参加申込締切日までに、永住者だとわかる「在留カード」又は「在留資格認定証明書」のコピーを青森市実行委員会事務局に提出すること。

イ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ3、公認陸上競技コーチ4（以上、JAAF公認コーチ）、又は公認陸上競技コーチ1、公認陸上競技コーチ2（以上、JAAF公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

ウ ふるさと選手制度については、総則5（別記1を含む）の規程による。

(3) 選手の年齢制限

ア 成年の部に参加する競技者は、2008年4月1日以前に生まれた者とする。

イ 少年Aの部に参加する競技者は、2008年4月2日以降2010年4月1日までに生まれた者とする。

ウ 少年Bの部に参加する競技者は、2010年4月2日以降に生まれた者とする。

（ただし、中学生は3年生のみ参加できる）

### 5 選考基準

○ 基準記録A及びBの突破者で石川陸上競技協会（強化部）が指定した選考予選競技会に出場している競技者から選考する。指定した選考予選競技会に不参加（エントリー無）・欠場（エントリー有・棄権）の場合は、国スポ参加資格はない。

○ 基準記録A及びBの突破者で選考予選競技会に出場し上位の競技者から選考する。

○ 追風参考記録は、参考記録として扱うため基準記録突破として扱わない。選考上公認記録等が同記録の場合には選考対象とする場合がある。

○ 2026年1月より競技会（記録会含）での実績及び競技会（記録会含）の今季最高記録を総合的に選考する。

● 成年少年男女300mに参加の意志がある選手は、7月国スポ県予選競技会の300mに必ず出場すること。（エントリー無、棄権の場合は参加意思がないもの判断する）

○ 2026年1月より、全ての種別については国スポ石川県予選会最終日までの今季競技会での実績、今季最高記録を参考として総合的に選考する。選考上必要に応じて、該当種目のみ期日

延長を行う場合がある。

○強化部で推薦する競技者を選考する。

※石川県国スポ選手として心身共に健全な競技者を選考する。

(石川県代表(国スポ)選手として相応しくない競技者は選考しない。)

※選考された選手は強化部が主催する各種事業(強化練習会・合宿)に積極的に参加する。

6 基準記録(別紙)注:基準記録は毎年見直す。

7 国スポ選手選考について

強化部で選手選考し(一財)石川陸上競技協会へ推薦する。推薦した候補選手を、(一財)石川陸上競技協会理事会の承認を経て内定とする。その後(公益財団法人)石川県スポーツ協会競技力向上委員会の決定により、正式に石川県の代表選手(決定)となる。正式決定後、所属または本人あてに決定通知書(9月上旬)を送付する。代表決定後、怪我等により辞退する場合については速やかに顧問あるいは本人から申し出ること。

※基準記録突破選手であってもケガ等がある場合(選考前でも選考後でも)、国スポ本大会での活躍が困難と判断した場合は、選考しない場合がある。

8 確認事項

○7月国スポ県予選競技会は、成年女子10000m競歩は5000m競歩で実施する。また、少年男子共通110mハードルは、ハードルの高さ/ハードル間は、106.7m/9.14mで実施する。

○選手内定後(決定後)は、国スポを最重要大会として本大会に向け調整すること。

○県内の成年少年選手は、強化部が主催する国スポ強化合宿(強化練習会)に必ず参加すること。参加しない内定者は内定(決定)を変更する場合もある。

○(一財)石川陸上競技協会激励壮行会は、9月下旬に行う。

○国スポ選手決定後に怪我等により本大会出場が困難となった場合は選手変更の手続きをする。

(附則) (1)ふるさと選手登録制度について

成年種別に出場する選手は卒業中学校または卒業高校のいずれかの所在地が属する都道府県から出場することができる。ただし、原則として1回につき2年以上連続として、利用できる回数は2回までとする。

ふるさと選手登録については、年度ごと毎年、登録手続きをしなくてはならない。

(2)国際大会等出場者(トップアスリート措置)について

(公益財団法人)日本陸連の規定により国際大会出場に日本代表として選出された競技者は予選会が免除される場合もある。

9 競技上の規則及び方法

2026年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

(1)少年男子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.914mとする。

(2)少年男子A円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。

(3)少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。

(4)少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。

(5)少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。

(6)少年男子共通110mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.991m/9.14mとする。

(7)少年女子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.762mとする。

(8)少年女子共通100mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。

(9)少年女子共通やり投のやりの重さは、600gとする。